

# 議 事 録

◎令和4年度第1回高知市男女共同参画推進委員会

日時 令和4年6月30日（木）14時00分～15時56分

場所 高知市役所 本庁舎6階611会議室

出席者 高知市男女共同参画推進委員 8名  
人権同和・男女共同参画課（事務局）

## 【会議次第】

議事1 副委員長の選出

議題2 高知市男女共同参画推進プラン2021

令和3年度分進捗状況審議

ヒアリング課の決定

議題3 その他

高知市男女共同参画推進プラン2021 令和4年度事業について

◇議事1 副委員長の選出（内容省略）

◇議事2 高知市男女共同参画推進プラン2021 令和3年度分進捗状況審議・ヒアリング課の決定  
（委員長）

それではプラン2021令和3年分の進捗状況審議の議事に入りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

（事務局）

令和3年度進捗状況等について説明（説明内容省略）

（委員長）

ありがとうございました。事務局の説明について、ご意見、ご質問はありませんか。

それでは、先ほど説明いただいた内容を踏まえまして意見交換を行いたいと思います。

事前に点検いただいたコメントは、お手元にお配りしております。こちらもご覧いただきつつ、お一人ずつ良かった点、あるいは悪かった点、課題について発言をお願いしたいと思います。

今回は、自由に発言いただくということも状況によってお願いしますが、一応皆様のご意見を伺えればと思いますので、お一人ずつ、約5分程度でお願いできればと思います。

（委員）

時間的にあまりなかったのですが、不十分なチェックしかしておりませんが、これを読みながら気が付いた

ことを一つだけ。個人的な話になるかもしれませんが、男女共同参画ということで考えたときに、ある意味ジェンダーというか、そういったものの視点から、いろんな意味で女性の方のフォロー、役割分担からの解放というか、そういったものを基本的に考えていたのですが、実はそういう考え方ではまだ不十分かなというふうに考え出しました。

というのは、よくよく考えてみれば、母子家庭があるし、お父さん、お母さんがいて子どもがいる家庭もあるし、父子家庭もあるだろうし、また、障害を持ったお子さんのご家庭がある。となれば、私自身が特別な支援が必要な子どもたちの学校で勤務していたときから考えると、ある意味、労働からの解放というのも視点に入れてないと、本当の意味での子どもを育てていくという視点が若干欠けてくるのかなと考えたことです。

そういう意味では、今までの発想は別ですが、ワーク・ライフ・バランス、それぞれ個々の100組というか100通りのワーク・ライフ・バランスがあるだろうということで、もうちょっと真剣に考えていかないと、この人には合う、合わない。こっちの人には合う、合わないみたいなことが、多々出てくるのだろうなど。それを考えたときに、この点検まとめを読みながら、相談業務はたくさんあると思いますが、ある意味相談をする場合のパターン、こういう方向になったらいいなというパターンがある方がいいとは思いますが、本当にそうになっていいのかどうかということも考えてしまいました。

個人的には非常に勉強になりましたけれども、もう一度、一から考え直さないといけないなと思っています。ある意味、個人的に非常に勉強になったという気がしています。一体どういうふうになったら理想的なのかなというところも考えていかないといけないと思うのですが、100人いれば百様のニーズがあり、それは全部同じ方向、形にはなっていないということが現実ではないかなという思いをしております。非常に漠然とした話ですが、非常に勉強になりました。ありがとうございます。

(委員長)

ありがとうございました。結局個人差は、家庭、世帯による差もあるだろうと。一つのモデルや理想像があるという話ではないのではないだろうか。それでは…というようなところは、今後考えていく必要があるのではないかとということだったと思います。ある意味、今後の方向という気がしましたけれど、そういう議論をまた皆さんの発言が終わってからしたいと思います。

次の方、お願いいたします。

(委員)

私は高知市の男女共同参画条例策定のときから、委員長と一緒に携わっています。高知市の男女共同参画が民間の企業も含めて前に前進するよという気持ちから一般公募の委員になりました。その中で、この30年位見てきて男女共同参画が進んだかという、そんなには進んでいないという感があります。私は、ちょうど男女雇用機会均等法世代です。私は男性と同様に役職が上がり、給料も同じでという社会を願っていましたが、どうもそうではないという現実があります。

では、高知市の男女共同参画推進委員として何ができるのかという、高知市が進める事業をできるだけスムーズに、また実現を目指して、私たちが評価し、市に戻していくというこの作業というのは非常に大事だと思いましたので、参加をさせていただいています。しかしながら、今回は非常にたくさんの事業があります。そのすべてを私たちに評価させるのか？という、そういうふうなニュアンスのことは事前に

事務局の方に投げさせていただきました。

と言いますのも、高知市の男女共同参画課は、庁内の男女共同参画を進めていく中枢の部署であると思いますが、男女共同参画課がどのように他の部署の事業を思っているのか、評価しているのか、その辺りがちょっと見えてこず、委員にすべて丸投げなのかというふうなニュアンスを感じたので、少し厳しい言い方をさせていただいたかもしれません。

元々私たちは、この事業を評価するということでは、賛成はしているのですが、人権同和・男女共同参画課が主体的になって、他の部署をどのように推進させているか、どのように評価しているかというものが見えてきた方が私たち委員としても、一緒にやっという気持ちになるのかなと思いました。

例えば、ほんとにミクロ的なもので申し訳ないのですが、SNS発信について、高知市役所のフェイスブックを今やっここで見ましたが、「いいね」が10個つくかつかないかですよ。「いいね」と思っていない人がいるのかもしれないですが、そこでSNS発信をしているという行為を自己評価して、発信していることになるのか、本当に届いているのかと感じました。ですので、高知市のフェイスブックの中に紛れ込んでいる高知市男女共同参画課の発信というものを、何とか紛れ込まさないような主体的な発信、そういうものが見えてくると、もう少し意気込みが分かるのではないかと思います。比較対照にして申し訳ないですけども、こうち男女共同参画センターソーレのインスタグラム。ものすごく変わりました。たぶん専門的というか、若い人たちがうまいレイアウト、刺さる内容で発信をするようになっていきます。きっと担当者が変わったのだと思います。

そういった男女共同参画課としての主体的な取組が、私たち委員にも見える形で今後進んでいくと、この会も活性化していくのではないかなというふうなことを思いました。以上です。

(委員長)

ありがとうございました。なかなか重いところがあるご意見であると思います。  
続いて、お願いします。

(委員)

今回、かなりのボリュームでなかなか全部詳しく評価をするというのが、私も2年目ということもありますが、ちょっとハードルが高かったというところがございました。

日頃、社会保険労務士という仕事で企業様に接する機会がほとんどというか、そのことが仕事ですが、事業の中で出前授業というのもあります。質問の中で、どんなところで開催されたかというところを質問させていただきました。それは企業などに対してどういう出前授業がされているのかなと気になったところです。今、パワハラ問題であるとか、アンコンシャスバイアスとか、そういう言葉もありますが、企業の組織の中でも、男女共同参画に関するようなところで、コミュニケーションの取りづらさみたいところが課題となっているところもあったりして、こういう事業が、地域ももちろん大切ですが、もう少し企業向けにも発信していけるものが、よりあればいいのかなというように感じながら拝見をさせていただいたところです。あと一つ、私だけかもしれませんが、点検表のエクセルに入力をしていくときに、○・×が選択できるようになっていたら、より入力しやすかったのですが、全部一個一個入力しないといけなかったのが、選択できるようにしていただいていたなら、もっと入力作業がやりやすかったかなというのは感じたところです。今年は、企業様向けの事業というのをより良くしていただけたらと感じ

たところでは。

(委員長)

ありがとうございました。今の件は課題で、たぶん前から弱いと言われていたところかとは思いますが。それでは、次の方お願いいたします。

(委員)

資料が多かった、時間がかかったという話は先ほどから出ているとおりで。2回目で送ってくださったメールで、進捗管理上、気になったところを○・×したらいいということだったので、私は○・×をつけたところが限られていて、それ以外は特に○を付けたり、×を付けたりしようという感じもしなかったという印象で捉えました。

その中で今回集計している表を拝見して思っているのが、割れているところはやはり議論してみたいなど感じています。少し申し上げますと、6番(学校における男女平等教育の推進)の事業実施方法は適切かで、○が1人、△が1人。5番(レインボースクール)も有効性の面で○が1、×が1で割れているので、これは見方がだいぶ違うのだろうと。○というのは、皆さん特に良い、○を付けて推したいということで、×というのは、これはちょっといかなものかということで付けているのだと思います。

目立つのが、10番(男のセルフマネジメント講座)がすごく割れています。ここは、私自身は何もつけていないのですが、見方がすごく違うのだなあと思ったりします。あと、11番(審議会等の女性登用の推進)については、見方が本当に違って、着実でも頑張っているとするか、道半ばまでもいかないという見方かなと思います。次に、13番(女性リーダーの育成)の必要性、14番(政治分野への女性の参画に関する情報の提供・啓発)の有効性、15番(人権啓発の推進)の工夫・配慮のところ割れています。24番(ハラスメント防止研修)も有効性と工夫・配慮のところ割れています。それから28番(男女共同参画企業表彰)の工夫・配慮、43番(消防団の充実強化)の具体的取組、46番(れんけいこうち防災人づくり塾)の有効性、50番(スポーツ推進事業)が割れています。こういったところはどういう見方をしているかという意味で意見交換できたらと思いました。

もう一つ、別の視点で見たときに、47番(女性防災プロジェクト)ですが、ここは委員の関心はかなり高いです。あえて今回、○がいくつ付いたかという集計はしてなくて、それは一つの形式だと思うのですが、やはり2、3、4とついているところは、恐らくこの委員会自体の関心・注目の高さのようなものがあって、逆にあまり委員会として興味がないものも、もしかしたらあるのかなと思ったりもしています。数字で見ることができるかどうかというのはあるのですが、検討してみても面白いのかなとか、そんなことを思いながらこの表を見させていただきました。後ほど色々と議論させていただければと思います。以上です。

(委員長)

ありがとうございました。では、次の方お願いします。

(委員)

皆さんのそれぞれの意見をなるほどと思いながら聞いていた部分がありました。

私がいくつか質問している中でというところですが、何かあるとピンバッジとフラッグ、のぼり旗という表現がすごく溢れています。市はそこまで多くないかもしれませんが、県は高知家バッジがまた変わったとか、フラッグが変わったとか。それはそれで推し進めていくことはいいかなというのはもちろんありますが、同じようなものが溢れていると、それに対して理解度がどこまで本当にあるのかなと思います。今回のピンバッジも理解度が深まったというご回答もいただいています。余りにもそれが溢れた結果、前も同じようなものを使ったけど、前と違うのかなというのが出てきていないかなと。高知家というのは、高知家の文字はそのまま、それ以外のデザインを変えているのですが、市の色々な課が、色々なことをやらないといけないという課題と、それに対する対策というのはたくさんあるので色々なことをやらないといけないのですが、やり方はある程度決まっています、広報物の作成、こういうピンバッジの作成やSNS、結局画一化されているところがあると思います。

レインボー階段について、私も質問させてもらいましたが、そういう階段があれば注目を引くし、あの階段はあまり何かをしているイメージがないので、高知市がパートナーシップやレインボーに関することを推し進めると決めたのであれば、たった2週間程度ではなく、やるにも外すにも費用がかかるので、それであれば、例えば高知市はこのようにやっています、というのぼり旗をそこにつけて、これがレインボー階段です、というのをずっとやるということが一つの浸透のきっかけにつながると思います。

色々やろうとしていることが多過ぎて、あれもやり、これもやりとなってしまう方がいいのではないかと感じるように感じています。この辺りのさじ加減というところは、大変難しいところがあると思いますが、ジェンダー平等についても、やはり推し進め方が難しいところがあると思うので、一つある程度決めたら、それをずっと推進していく核を見つけて、高知市として全体として重点目標でこれをこうするというのを、短い単位じゃなく1年とか2年をかけていく位でやっていった方が、もっとより良いものになるのではないかと思います。

(委員長)

ありがとうございました。それでは、次の方をお願いします。

(委員)

私も初めてだったもので、これは大変だなと思ってやりました。

全般的なところで意見を書かせてもらいましたが、恐らくこれは各課に投げられて集約されておられると思うのですが、進捗と言っても、目標がどの位でしたというのがないと、例えば200人来ましたという評価をされても、100人を目標として200人来たのか、500人を目標として200人来たのかで、その成果が変わってくるので、それが噛み合ってしっかり記載されているところと、その結果だけを答えているところがあるので、ちょっと判断がしづらいなと思いました。

それと各課、男女共同参画の視点があるのですが、私もまだ委員1年目なので、例えば課の取組をさらっと書かれていても、男女共同参画や人権の視点がどういうところがあるのかというのを書かれていないと、私の方も読み込むことが十分できなかったもので、来年度以降やるのであれば、少しチェックをかけていただいて、書いてきたものをそのままではなくて、数値的なもの、例えば最初の目標を掲げておらず結果だけ書かれて分からないという辺りを、やっていただいたらいいのかなというふうに思いました。

個別で言うと、自分の関心のあるところで書かせてもらいました。例えば、4番の多様な性のあり方を尊重する取組の推進で、要望が20校あって、8校しか実施できていないというのは、すぐもったいなくて、恐らく予算の問題もあるのですが、例えば流用など、せっかくの機会なのでそこの辺り柔軟に対応されたらと思いました。

あと、私は防災を結構やっているのですが、防災のところでも書かせてもらいましたけれども、例えば避難所の運営体制の整備について、結構進まれているとは思いますが、リーダーに女性がいるかどうかと言っても、よくあるのは清掃班や環境班のリーダーに女性が充てられていて、女性でしょとなるのですが、大事なのは、どちらかというと避難所の運営本部というか意思決定の部分にどれだけの女性が入っているかということも重要なので、そこの辺りもチェックをしていただければと思いました。高知市さんは女性の防災プロジェクトを頑張っていて、結構市の職員さんが個人的にやられているところもありますが、そこは高く評価をしています。

あと一般的に言われる、この前テレビでやっていましたが、高知市くらい組織が大きくなると地域防災推進課が10人20人いて、特に高知市の場合は非常に若い女性が結構地域にも出ていますが、他の市町村では、やはり防災担当が1人2人しかいないと、ほぼほぼ男性になってしまう。いざ配備がかかったときに、徹夜しなければいけないということが出てきたときに、なかなか家庭を持っている女性職員であると厳しいからというところをテレビでやられていましたので、高知市はたぶんその辺りもクリアされていると思いますが、そこも重要な視点かなと思ってみたところでした。以上です。

(委員長)

ありがとうございました。次の方、お願いします。

(委員)

一つは、前にも言ったと思いますが、ここに出てくる評価の資料自体が、もう少し委員会で評価すべきかどうかというところを区分してもらいたいなと思います。各課が一生懸命やっていますので見てくださみみたいな形で全部出されてきても、先ほど話もありましたけれど、全部を評価しないといけないのかという疑問があります。本来自分たちでやるべき仕事というか、男女共同参画事業に、やっていることを無理やり結びつけてきて、男女共同参画事業の一つの事業としてこういうことをやっていますと言っているような気がします。我々は、このプランにあがってきている内容を、本来は集中的に審議していかないといけないし、その指標に対してどういう動きをしているかというのを見ていくということ、自分たちが作成した推進プランの進捗管理をするという意味においては、そこにもう少し力点を置きたいというのがあります。

このシートはいいのですが、こんなに回ってきても、あまり関係ないというかそれほど重要性はないようなところもあるので、もう少しプラン2021の中身に沿った項目を重点的に審議できるような、評価できるようなやり方ができないのかなというのを感じました。

それと先ほどありましたが、指標の問題があると思います。このシートを作るときに、意見として挙げさせていただいたのですが、この課がどの指標に対して取り組んでいるのかという意識づけがこのシートではできないのではないですか、という気がしています。

今日の配付資料の事業一覧の中に関連する数値目標という項目があったのですが、シートの方にその

項目がないと、各課が本当にこの指標のために取組をしているということが見えていないのではないかと気がしておって、まずそこを各課の取組の中では意識してもらいたいなということがあります。

それは先ほど他の委員さんからもあったように、きちんと目標値を出して、それに対してどういう結果が出ているのかというのをきちんと示さないとだめではないかという気がしております。

それから、これは個別の話ですが、3番に広報・啓発と情報発信（庁内向け）として、アライの見える化推進で、職員がにじいろのまちシンボルマークをモチーフにしたピンバッジを身に付け、アライの見える化推進に取り組んでおると書いていますが、皆さん付けていますか。＜市職員は名札に付けているバッジを見せる＞そういうところに付けても全然見えません。付けているというのは、付けているらしく見えるところに付けてPRしないと。名札に付けて下の方にあっても、こちらからは全く見えないので、そういうのもどうなのかなと思います。そういうのがきちんとこの中の反省の中に出てきてもいいのではないかなという気がします。バッジはきちんとここに付けましょうとか、見える場所に付けて宣伝しましょうとかいうやり方というのも考えないといけない。

先ほど高知家のバッジの話がありましたが、バッジがいっぱい配られて、自分たちは付けている時もあるのですが、バッジを付けて県庁に行っても県庁職員は誰も付けていない。自ら範を見せるという意味ではそういうのをきちんとしていただかないと、結局先細りになってしまう。みんなには押し付けるけれど自分たちはやっていないという感じで、少なくともこんな委員会の場などではきちんと見える形で、付けていますというのを宣伝するようにしないと、付けているかどうか分からないのではどうかと思います。その辺りの取組の考え方というところも、少し考えられたらいいのではないかと思います。

最後にもう1点だけ。こうち男女共同参画センターソーレの取組をこの中に入れておられるのですが、私としては、ソーレは報告であって、ここで評価すべきではないと思っております。と言うのも、私も財団の理事をやっておりますので、理事会の中で、この取組については評価をしています。と同時に、この事業をやりますというのは、財団の方が公募して、その内容でよろしいですということで決められた内容であって、それは委託事業として評価すべき話です。ここで評価するのであれば、ソーレに委託する前にこの内容は正しいですか、どうですかということをしなければ、OKを出しているものをこの委員会でもう1回引っ張り出してきてどうかと言われても、財団理事としては理事会でも十分審議してOKしているのを、また別の場所でだめ出しされたら、理事会は何なのかということになる。ソーレだけ外していただいてもかなり楽になるので、ソーレはソーレでこういう取組をしているという報告だけでいいのではないか。逆に言ったら、高知市がこういう事業をソーレに委託して、その結果こういう報告を受けており、市としては委託した事業についてこう評価したという報告でいいのではないかという感じがします。それを我々委員に評価しろというのも、いかがなものかと。ちょっと色々まとまらない話になりましたが、そう考えておりました。

(委員長)

ありがとうございました。

色々出ましたが、各委員からということで、最後に私の方から、重なってない話というわけではないのですが、二つ三つ言わせてください。

一つは、委員会では事務局体制が変わる度に、結果としてほとんど毎回やり方が変わってきていて、それは欠点と長所と両方あると思います。やはりある程度築き上げると、やり方も分かってくる、だ

んだんそれぞれの質は上がってくるのですが、事務局が変わると方法もほぼ変わりますので、せっかくこう築き上げた良さが崩されてしまうところもあります。今回は良い点としては、チェックするという点で、途中で改善案を出せるのかなど、そういう点でのチェック機能という点では多少良いとは思いますが、やはり報告書、評価する中身の完成度が非常に低かったなと思います。それで、皆様からの色々な意見も出ていたと思います。

以前ですと各課から出てきた報告書が不十分であれば、担当課の方がそちらの課と調整したり、意見を言ったりして、もう少しこれを書いてくれとか、いろんな形があったと思うのですが、今回はテーマを全然書いていないとか、ねらい、目標を書いていないものも多くありました。男女共同参画課の事業にもそういうものが多くて、それは分かっているでしょうというつもりだと思いますし、例えば、啓発広報だったら、その意義は書かなくても分かっているよねということだと思いますけれど、評価の場なので、何のためにこの広報をやるのか、広報のテーマ、そのねらい、ターゲット、そういうものは必要。そういう点でまた本当に最初の段階に戻っているなというところが多かったようなので、各課からの実績報告はきちんと内容に見合ったものに変えて、完成度を上げていただきたいと思いました。それがある程度できている課もありますが、ほとんどできないというところが結構目立ったと思います。ちょっと甘えているようにも思われました。

逆に言えば男女共同参画の仕事がある程度回ってきているので、従来は単なる啓発・広報でもよかったかもしれないけれど、もっと深いところが求められている時期になってきているのに、そこに気づいていないとか、もしかすると担当課も気づいていないかもしれないなと思いました。私たち自身もそうだったかもしれないなと思っているところです。

あとは、私も最初に意見を出したらよかったのですが、点検項目の効率性というのがありますが、これが言えるレベルではないと思います。男女共同参画行政の現状、特に高知市の場合、効率性以前の状況で、まだ無我夢中で何か分からないところに、何か餌をまいている状態であって、どうしたら効率が上がるかというのは、もっと何か具体的にやっていくなりしていかないと言えないので、これは少し不適切。例えば企業などでは言えるかもしれないけれど、この事業は啓発という点でも、効率性という表現自体が良くないし、現状としてそのレベルは議論できないので、せいぜい適格性かなという気もするのですが、有効性と重なってくるし、この辺りは検討事項かと思います。それ以前で無駄になってもいいけど、無駄を減らすにはどうしたらいいか位の初歩的レベルからやっていかないと、今からこんなことを言っていたらたぶん事業をしないほうが良いというような話になると思います。

また、ソーレのことについては色々議論があると思いますが、お金も人も出しているし、実際に、事業内容としてソーレがやるべきことについてもまだ不十分だという面もあるので、どういう形かはともかく、私もソーレの運営委員会にも出させてもらっていますが、あそこでも評価はできないのです。やはりお金とか何か出している以上は、言う権利はあるのではないかと思います。どういう形で整合的に戻すのかということは、もうちょっと考えた方がいいのかもしれないですが、以前まで意見が出せなかったことには問題があったかなと私は思います。その辺りは課題かと思います。啓発系がやっぱり弱いということと、ソーレに託している部分はそこが大きいので、そこにはやはり何らかの方法、相互作用が必要ではないかと考えました。以上です。

もう少し委員の皆様方からご意見が出たところについて議論したいところですが、日程的には結構厳しいものがあります。



全部について議論できないと思いますが、これはぜひやっておいた方がいいとか、あるいはここについてもう少し議論しましょうというところがありましたらお願いします。

(委員)

この会で一度、男女共同参画の視点を入れたらいいという提案をして、今回入れていただきましたが、そこに書いてあることが市民一人ひとりの主体的な取組や、男女の人権の尊重など、この視点を取り入れて事業をやってくださいという例文から書かれている課が多いですね。本当に私たちが欲しいのは、事業の実施に当たり行った男女共同参画の視点、工夫や配慮の具体例、そういうところをもうちょっと評価前に記入していただくと、私たちもその視点でできているかどうかを評価しやすいと思いました。

(委員長)

その辺りはどうでしょうか。今回はそういう意見とかは言えない状態で評価しろというふうに来たので、余りにもこう全般に関わる初歩的な話は返さなかったのですが、事業概要一覧の方ではもう少し違うことが書いてあります。事業概要一覧と点検表と違うのはどういうことなのでしょうか。

(事務局)

今回お送りさせていただいた点検シートは令和3年度の事業になっておりまして、本日お配りしておるのは、内容は大きく変わっておりませんが令和4年度の事業概要となっています。事業概要の項目については、昨年度になりますが委員会の方でも令和3年度事業についてこちらの形をお示しておって、それをこの点検シートに落とし込んだ形なので、ズレは生じていないと思っております。

先ほど委員からおっしゃっていただいた視点のところについては、点検シート上プルダウン方式になっていて、1～7を選んでいただく形になっておったので、逆に分かりにくくしてしまったという点では、事業概要のものをそのまま落とし込んだ方がよかったのかなと反省しております。

(委員長)

分かりました。今からでも本当は直した方がよい。逆に言えば、そういう断り書きを入れるなりしないと、これまでの点検表とレベルが全く変わってしまうという点で問題になるのかなという気もします。昨年までは、それなりにかなり工夫して書かないといけないということで努力していたわけです。今年だけは分類項目のようになってしまっているので、少し検討いただきたいと思います。

(事務局)

男女共同参画の視点はすでに各課からいただいたものがありますので、1からの7の項目ではなくてそれぞれの視点も入れ込む形に点検シートのレイアウトを変更した方がよろしいでしょうか。

(委員長)

はい。

(事務局)

分かりました。それでは、それは8月に送りさせてもらうときに設定をした形で、お渡しするようにしたいと思います。

(委員長)

それでは他はいかがでしょうか。

(委員)

今お話が出たところと重複する点でいうと、確かに男女共同参画の視点というのが、今までは男女共同参画の視点からの取組の工夫というタイトルになっていたと思います。私から言わせると、ここでやるべきは、はっきり言ってそこだけだと思っています。例えば、いろんなイベントで人を集めるのに工夫したとか、SDGsの観点からやったとかではなくて、ここでは男女共同参画の推進ということがテーマの委員会なので、男女共同参画推進の視点を入れていますかとか、女性の参加しやすさとか、そういったことを書くところだったと思うので、それを区分のことだけ書かれたというのはちょっと違いました。ですので、シートの「D o」欄にある男女共同参画の視点のところを、男女共同参画の視点からの実施における工夫というような形にしてあげないと、聞かれた側が分からない。「具体的取組(工夫や配慮した点)」というふうに書かれていて、日本語だと問いに対する答えであれば恐らく事業全体をどう工夫して配慮したかということになっていて、きちんと問いに答えようという努力はされています。ここでは、男女共同参画の視点からどういう工夫・取組をしましたかと聞かないといけないかなど。全体に対する工夫や取組はここでは関係ないからいらなかなど思ったりします。

それから、先ほど他の委員の言われた数値目標のところが本当に分かりづらくて、数値目標がどこに書かれているかというところ、プラン数値目標一覧というのが後ろに綴ってあって、これと対照しないと分からない形でした。もう1回確認したいのですが、なぜ数値目標がこの表から外れたのですか。色々な事業に関係する数値目標がどういう形で線引きされるか分からないから、結果的に漠然としてしまったのでしょうか。複数の事業が複数の数値目標にリンクしている可能性があったがゆえに、書き込むとかえっておかしくなるからということだったのでしょうか。

そうすると、確かにこれを与えられた各課においても、自分たちの目標がどこにあるかと、活動指標が明確にあるやつはともかく、やはりプランの目標に対してやっているのかという意識で書けなかったと思います。プランを作る段階から関わっていますので、私も当然責任あると思っています。自己評価としては、プラン目標一覧のどれに対して寄与できたと思いますかというところもあったらいいかもしれないですね。でないと、一生懸命、目の前にあることをばらばらやったということになりかねないと思いました。プラン目標一覧とリンクさせて、これはプラン目標のどれに寄与しているかを考えることまでが私たち委員の仕事だということになると、頭の中でリンクさせてやらないといけないから非常に大変だと思います。先程出ていたお話のなぞりですけれど、そういうふうに思いました。

(委員)

それは無理です。本当にプランの指標を目指してやっているのか、それは全く無視して自分のやりたいことやっているのかという、その区分がよく分からなくて、評価が非常に難しくなってきたところだと思うので、少なくとも個別事業の活動の指標はいいけれど、最終的にプラン2021のどの指標に通

じるかという項目が、この計画の最後位にないといけない。例えば、住民アンケートの意識を上げるためにこの事業をやっているというのがここに入っていれば、そのためにこれをやっているのだろうというのが分かるし、それが言い換えれば、男女共同参画の視点を意識してやっているのだろうというのが分かるのですが、これは毎月の各課の業務計画に掲げていることを、ここで報告されているみたいな感じだけであって、何となくちょっと違うなという感じがしております。

それと、一番不思議でたまらないのは、なぜアクションが入っていないのかということです。普通はP D C Aの年間終わっているから、アクションまで入って仕上がるものです。自分のところで点検して問題があって、こういうアクションを取りますと。それに対して我々がこのアクションでは足りないですよという、意見を述べる場であるべきであって、アクションも委員会で考えてください、それを取り入れますではないのではないかという気がします。P D C Aの回し方というのは、自分たちで考えて、次回はこういう見直しをしますということを書いたうえで、委員の皆さんいいですかというのだったら分かるのですが、そこを委員に求められるというのも、やり方としては違うのではないか。これでは点検だけして、後に繋がっていない書き方なので、全然P D C Aになっていない。これが庁内でどういう形で周知されて、どうやって回っているのかが分からないが、普通はP D C Aまで書いて仕上げ回してください、それで委員のチェックを受けますという流れだと思う。

今6月で、もう令和4年度はかなり進んでいます。その時点でまだ見直しができるということは、令和4年度にその内容が反映できるのは、相当後の9月、10月の話になってしまうと、ほとんど年度が終わっている。そこまで待つというのが分からなくて、このアクションの意味は何なのか。今後どのようにというのが、令和5年度に向けてのアクションというのであれば、それはそれでいいかと思うが、次年度へ反映するのであれば、この時点であげていないと、全然活動の反省をしていないのかなという気がしています。ここはどうですか。

(事務局)

こちらの方からしっかりご説明ができてなかったところは申し訳ございませんが、このP D C Aへの点検シートですが、今回と第2回の委員会で、推進委員の皆さんからいただいた点検コメントを入れ込んだ形で、各課に委員会からこのようなコメントをいただきました、という形で投げ返して、今後どのようにするかの対応部分を入れ込んでいただく形で考えておったところです。

昨年度までもそのような流れで進めておったところで、点検シートの様式自体は大きく今年見直しましたが、今までの流れでいっても委員会の方でのご意見をいただいた後に、各課の方へは、委員会の意見ということでフィードバックをさせていただいて、各課の対応、改善すべきところを入れ込んだ形で年次報告書にまとめておりました。ですので、そちらの流れも問題があるということでしたら、検討させていただきたいと思います。

(委員)

前の報告書は縦長でしたよね。確か、最後に見直しの方向性を書くところがなかったですか。

(事務局)

言葉としては、改善すべき課題等に対する回答という形で書かせていただいていたと思います。

(委員)

それではないような気がするのですが。

(事務局)

当初考えておった事務局の流れは先ほどご説明した通りで、今回6月と次回9月の委員会でいただいた意見を10月の来年度の予算を立てる時期までに各課の方に流して、事業の予算を考える際に、推進委員会の意見を加味した上で事業を考えていただけるようにということで、事業の予算に反映させるのは、令和5年度の事業について反映させるという流れで考えておりました。

(委員)

要は令和4年度が飛んでしまうということですよ。

(委員長)

2年後ということですよ。

(事務局)

このサイクルを見直すのであれば、やはりやり方について再度見直しを。

(委員)

いや、そういう意味ではなくて、サイクルはいいのですが、シートを作り上げたときに、各課の評価が点検までで終わっているじゃないですか。でも、できたこと、できなかったことというのを、前の報告書でしたら、特記事項の欄に、実績の分析をし、課題や男女共同参画の視点から実施できたこと等を書かせるようにしていた。今回のものは、点検だから、達成状況だけ書いて、よくできましたと書いているだけ。けれど、ここから達成できていなかったら、それはなぜで、どのようにしていくかというところを各課が反省しなければいけない。お金の話ではなくて、この事業自体が仕上がったかどうかというところが、点検で終わったままでは全然PDCAになっていない。やはり各課が自分のところで、ここはまずかったので、目標達成できなかったからこういう反省をしています、自分たちはこういうことで令和4年度につながったというのがあって、初めてPDCAになる。そして、そのあとで我々のコメントがあって、これだけのことを求められるのであれば、令和4年度はだめなので、令和5年度の予算措置をしますという繋がりがないと、点検だけして後が何もなくて1年後というのは、ものすごく遅いです。

やはりこういうのは、自分で反省しないといけないと思います。その反省が全然書かれてないというのが、普通のPDCAの回し方とは全然違う。企業のPDCAでしたら、これはアクションまで書いて上げて、その見直しの仕方は弱いと、もっとこうなさいというのは、出てくるのですが、その元となるものが何も出てきてないというのが、このチェックシートの中では中途半端に終わっているというところなんです。点検して目標を達成していませんでした、はい終わりですではなくて、達成するためには、令和4年度はこういう取組をしますという工夫を書いてもらうところまでいかないと。そこで我々がそんな工夫では全然目標達成できないでしょうと、もっとこういうことを入れたらどうですかと言ったら、それを反

映するというのであれば分かるのですが、意見を踏まえてやりますというのでは、全然主体的に動こうという姿勢が見えないので、そこはちょっと寂しいなという感じがします。

先ほどほかの委員も言われていたが、全部委員会に投げかけてお願いしますというようところが非常に強いけれど、これは自分たちの動きなので、自分たちできちんと最後まで仕上げるという強い意思がないと、委員会の意見を待っています、委員会がよかったらそれでいいという感じで終わっては全然繋がらないのではないかなという気がしています。このアクションがいつ出てくるのかなというのは、先ほどの説明でいくと9月の委員会まで待つというそんな遅いことでは、令和4年度は何をやるのかという感じになっていますので、どうなのかという気がします。市の仕事だってそうでしょう。令和3年度の事業が終わった後に、4年度は無視して、令和3年の傾向は令和5年度で反映しますというような仕事の仕方はしないでしょ。

(事務局)

報告書への落とし込みについては、こちらの依頼の仕方がまずかったのかもしれませんが、いただいたご意見は、再度検討させていただいて、1回目の委員会の後に再度この点検シートを8月初旬にお送りする予定で考えておりましたので、その際にこのアクションを各課の方に、自分の課としてこの事業をどう点検したかというところまで見える形で、委員会の方へお返ししたいと思います。

ちょっと時期が8月初旬からは予定がずれてしまうかもしれませんが、なるべく早く検討して改善するようにいたします。

(委員長)

ぜひお願いします。というか、昨年までできていたことなので、それを落とすというのはちょっとまずいと思います。背景としては、あまりできていないという評価の課が少なく、かなりA評価が多かったと思うのですが、できてないという評価であれば、改善しようという気持ちに各課がなっていると思います。書かせてもらいましたが、自課の評価が高すぎる気がします。だからA評価であれば、改善点もそれほどないということになっていて、アクションの必要性を感じていないということにもなっていると思います。実はA評価ではないのではないかという意見を何回か書かせてもらいましたが、その辺りは弱い点だと思うので、ぜひ改善して欲しいと思います。

(委員)

ヒアリングの話をしないといけないと思うのですが、確認してもよろしいでしょうか。

P D C Aという言葉でやったのは今回が初めてですか。

(事務局)

はい。

(委員)

そうですね。今まで独自の様式でやってきて、本当に紆余曲折、歴史があって、事務局が変わっても毎回みんなが何かやりにくいねと言って。私も入った頃に、何をやっているのか、この委員会はと思いま

した。事業評価をやっているのか、男女のことをやっているのかよく分からない状況で、だんだんと整理されてきて、今回PDC Aという少しすっきりした表になってきて、この表自体は見やすくいいなと思っています。項目が多い割にきれいに配置されていると思っています。色々意見はあるのですが、事業コストや費用対効果を考えないと、予算のことを考えず好き放題言える人は気楽ですよ、みたいな感じで社会では流れてしまいますので、そういうことも工夫して考えていますという視点が入っていないといけないと思っています。

また、アクションまで書き切っていないというのもご指摘を受けてその通りだと思うので、これもやはり入れるべきだと思います。というのは、PDC Aは、結局、考え方の問題だと思います。実はアクションの部分を見ると、理解できているか、できないかが非常に分かります。何年か前に、かなり立派な行政さんでも、アクションのところ、参加者が少ないことが課題であると書いていて、いやだからそこをどうするかを書くところでしょうというようなところがPDC A始まった頃にはありました。今年はこれが初めてなのでアクションまで書き切っていて、それにコメントするという形にしたらいいのだろうと思います。ちなみに来年度アクションまで入れて6月とか5月末までに出してくださいねという依頼を各課にすると、それは可能と書いていいですか。

(事務局)

はい。

(委員)

チェックまで書けるのであれば、アクションも書けるということですね。来年度以降はできると思っています。

(委員長)

議論は色々他にもあるかと思うのですが、次回ヒアリングというのができます。今は文書での報告でしたけれども、担当課に来ていただいて、大体15分程度ですけど質疑ができます。その担当課について、ぜひこの課に来ていただきたいというところがありましたら、皆さんの方から提案をお願いしたいと思います。最大3つぐらいということで多少少なくともいいですし、若干増えてもいいと思います。どうでしょうか。

(委員)

単に自分が悩んでいてどうしたらよいか分からないのが、ソールをどうするか。先ほどお話があって、私も社会の構造が分かっていたので、委託事業としてそちらでやっているものについて、ここで何かというのは確かにと思いました。ですので、ソールをヒアリングに入れますか、入れませんかという基本的な視点がまず必要ななと思っています。ソールを外すとしたら数がぐっと減ってくるので、そこが一つ論点かなと思っています。それと、うまくいっている、評価が比較的高いところに聞くという発想と、いかなものかというバツが多いところに聞くのかという発想かと思うのですが、プランの進捗管理という意味合いでヒアリングをするのであれば、どちらかというと後者ですよ。

(委員長)

そうですね。あまりうまくいっているところのことを聞くゆとりはまだないのかなという気もします。非常に顕著な成果があって、今までにないというようなことが明々白々であればそれも面白いと思いますが。

(委員)

ヒアリングとなると、興味があるから聞くということだけではなくて、進捗管理上問題がありそうなところを聞くというのが基本的なラインでしょうか。

(委員長)

そうですね。

あるいは、委員会のスタンスと結構ギャップがあるとか、少しギャップを埋められるかもしれないというところもあると思いますが。

(委員)

私は、男女共同参画課。事務局としてどういう考えを持って、どういうふうに庁内をまとめて、やっているかみたいな細かいところ。事務局の男女共同参画課として各課へどういう関わりを持っているのか、どういう指導をしているのかという基本的なところを1回聞いておきたいと思います。

(委員長)

はい、分かりました。一つ例が出ましたが過去の例を見ると、令和3年は人事課と保育幼稚園課でした。その前の令和2年は、学校教育課と高齢者支援課、そして防災政策課でした。その前の令和元年は、学校教育課、母子保健課、人事課、防災政策課でした。ということで、ここ3年の例だけですが、2回続けて同じ課を聞いていたりしますが、別にそれにとらわれることないのですが、男女共同参画課はないので、一つはそれも大事かなと思います。

逆に2回ぐらい聞くと、その後はないので、多少聞いてみると分かってくるのかなという気もします。ぜひここ直接聞いてみたいというのでももちろんいいですし、皆さんに合わせる必要はありませんが、点検シートを見た感じで直接お話を聞くという手もあります。

(委員)

人事課はどうですか。

(委員長)

過去に聞いていますが、やはり課題として実現してないということで、1回しか聞いてないので、やっぱりまだというところがあると思います。

(委員)

女性技術職の採用の問題とか、管理職の問題であるとか、育休の問題であるとか、結構課題がたくさん

あるなど。

(委員長)

ある意味、足元ということですね、2つとも。

どうでしょう。人事課は1年前に聞いていますが、やっぱり課題と関係が深いということでしょうね。皆さんいかがですか。遠慮せずにどんどん出していただいて、すごく多ければ投票で選ぶという手もありますが。今のところ男女共同参画課と人事課が出ています。

(委員)

○と×の数が散見されているのはスポーツ振興課ですかね。

(委員長)

スポーツ振興課。男女共同参画とちょっとそぐわない感じを受ける気がしています。この3年間では呼んでいないですね。いいのではないのでしょうか。

(委員)

ただプラン全体で大きく影響するかというと、持っている事業が2つぐらいの事業なので。

(委員長)

それは構わないのではないのでしょうか。やっぱり担当者と話ができることで、次回やそのあと報告書変わってきたという例もあるので、認識を深めていただく機会になるかもしれないし、こちらの認識ももしかしたら変わるかもしれない。それも、何となく違和感を抱きつつ、事業数が少ないから皆さんいいかなということで、もしかしたら今まで日の目を見ていないかもしれませんから。

(委員)

逆に、ぜひ話させてくださいという課、アピールしてもらいたい課はないですか。

(委員長)

自薦の課ですかね。

今のところ出たのは、男女共同参画課と人事課、スポーツ振興課です。皆さんいいですか。

で、プラスもし4つ目として自薦があれば。4つの中で、もしどこか出られなくなったときには、他の3課が出るという手もあると思います。

(委員)

例えば、自分のところは評価が低いですけどどうしてですかみたいな考えがある課とかいないのかなど。

(委員長)



直接委員会で話をしたいとか、こんな事情があるというのを分かってもらいたいとか色々あるかと思うので、そういうこともあるかもしれません。

(事務局)

皆さんから見られて、このプランに対して大きな影響を与えていると思われるような課はありますか。

(委員長)

それはやはり男女共同参画課じゃないでしょうか。

社会福祉系は大きいとは思いますが、事業そのものが似ているで、そつのない報告をしてくるというか、事業そのものにお金がついているから突っ込みようがないと言ったらいいか。面白いなどは思いますが、他よりは有利なのかなと。男女共同参画行政と反りがいいというか重なっているようなので、聞いてみたい気はしますが。聞かなくても、たぶんある程度事業はできるし、やらないといけないような予算がつくのだろうという感じで、私としては見えています。

(委員)

自分で推しているわけではないですが、スポーツ振興課が全般として評価が弱いかというところ、数値目標との関連性に課自体があまりピンと来ていない。私自身もピンと来ていない。今回、改めて数値目標を見ると、例えば地域活動の場における女性の参画の促進だとか、流れにうまく乗れていない。先程委員長が言われたように社会福祉系は元々反りが合って、親和性があるから、そつなく評価も入るしという意味で考えれば、数値のどこをポイントと考えているのかも含めて一回位聞いてもいいのかなという気がしました。

(委員長)

スポーツということと、男女共同参画ということ、スポーツの性による違いというところで、競技という点ではそうそう突っ込めないけれど、市民スポーツや市民の健康となってくると多少関わりはある。でもそこはこれからの課題。今、百歳体操とか、フレイルとか、課題としては大きい。だからチャンスかなという気もします。ヒアリングでは数値目標には簡単にかなくても、そこら辺の現状について少しディスカッションするということはあるのかなという気はします。

いきいき百歳体操とかいったら女性が圧倒的に多いけれど、別のスポーツの指導者は男性だとか、ジェンダーの点ではある意味、課題です。でもどういう現実的な政策があるかというところ、なかなかどうなのでしょう。課の方の認識と男女共同参画のこの会の認識はだいぶ違うかもしれません。コロナ禍故、健康の観点から大事という気はします。課の方は従来型のスポーツイベントを考えている気がするので、もう少し市民の健康増進というところにも力を入れて欲しいかなと私としては個人的には思いますし、その深刻さは結構あると思っています。

(委員)

スポーツ振興課が男女共同参画の視点をどこに持っているのかが、この報告では全然分からないので、そういう意味ではどういう視点を持って取り組んでいますかというのがいいと思う。

(委員長)

そうしてみますか。過去に1回位呼んだような気もしますが、あまり記憶もないので、で、あと自薦というのはどうしますか。とりあえず3つ。この順位はいいですか。3つあるので、もしかしたら全部は出て来られないときに、2つでもいいということでもいいですか。その時に、事務局の方で、自薦ではなくてもぜひというか、この課が必要と思う課がありますか。

(事務局)

男女共同参画の視点からの取組というのを、当課としてやっていきたいという思いがありまして、自薦ということでしたら地域防災推進課です。

(委員長)

そうすると4つになりますが、最初の3つを優先で、何かあったときに4つめの地域防災推進課ということでもいいですか。突然その時ある課が難しくなるということもあるらしいので。議会の日程や、そういう時は臨機応変に対応いただいております。

(委員)

スポーツ振興課は10分位ですよね。男女共同参画の視点をどういうふうに考えていますかと。

(委員)

私は、今ちょっと分からないですが、部活を地域に移行するという話になっていきますでしょう。スポーツ振興課の事業がスポーツ指導者の育成になっていきますが、これはどうするのでしょうか。教育委員会とコラボでやっていくのか。そうなってくると、教員資格のない人が子どもたちの教育に関わるという話になってくる。その時に「男やき頑張れよ」みたいなこととか、そういう話が出てきたら全然だめですよね。その辺りのことをどう考えているのか、もし、スポーツ指導者の育成をスポーツ振興課がやって、学校の部活の地域移行に関わるのであれば、そここのところでどういうプランを持っているのかはぜひ聞きたいです。

(委員長)

そうですね。大事ですね。たぶんああいうふうに出してきたということはかなり動いてくると思います。でも実際はいろんな場面も見ますけれど問題があると思います。

では、よろしいでしょうか。

男女共同参画課と人事課とスポーツ振興課で、4番目が地域防災推進課です。何かあったときは、あるいは入りそうだったら4課入ってもらってもいいですけど。それでは、ヒアリング課は決定ということで次回やらせていただきたいと思います。

### ◇議事3 その他 高知市男女共同参画推進プラン2021 令和4年度事業について

(委員長)

その他の議題ですけれども、プラン2021の令和4年度事業について、説明をお願いします。

(事務局)

高知市男女共同参画推進プラン2021 令和4年度事業について説明（説明内容省略）

(委員長)

ありがとうございました。新たな事業というものも少し分かり、それでは、今日の議題に関しましては、予定していたものが終わったかと思えます。

それでは、今日の最後の説明も含めまして、何か皆様方からご意見はありますでしょうか。

(事務局)

少し皆様にお聞きしたいのですが、先ほど取組についてご説明しましたが、部局推進員をつのって庁内横断的に取組をしており、昨年度はDV防止啓発の動画を作成しました。皆様、ご覧になられましたか。本当に手作り感満載で、若手職員が集まり、素朴なDV防止啓発の動画を作ってCMで流しました。また皆様にこちらの会でも見ていただきたいと思えます。

(委員長)

ぜひお願いしたいと思います。

それでは、長時間における熱心なご審議ありがとうございました。以上で議事を終了します。

(15時56分終了)